



第41号

平成20年2月

発行 NPO 法人小野川と佐原の町並みを考える会  
 佐原町並み保存会  
 お問い合わせ 佐原町並み交流館  
 ☎ 0478 (52) 1000

# 文化の日、千葉県より表彰される



千葉県議会議事堂にて。  
 前列中央が高橋賢一理事長、後列右が堂本知事、その左が園城寺達雄さん。

☆☆☆☆☆☆  
 平成十九年十一月三日の文化の日に「小野川と佐原の町並みを考える会」が「地域観光振興に尽力した」功績により、千葉県知事より栄えある表彰を受けました。

## 新春に語る

「新春にあたり「NPO 法人・小野川と佐原の町並みを考える会」の高橋賢一理事長に抱負を聞きました。」

○文化の日の表彰について  
 昨年の十一月三日、当会が堂本千葉県知事より「文化の日表彰」を受けました。

式の当日、千葉県の担当者からは、「この賞はとても意義あるもので、「観光立県をめざす千葉県」が、特に今年度に新設した地域観光振興功労者部門の名誉ある最初の受賞です」とのおほめの言葉をいただきました。

私たちが佐原の町並み保存運動が平成元年「ふるさと創生資金」の使道アイデア募集からスタートして以来二十年、市民の皆様のご協力によってここまで来ることが出来ました。

○新年の新しい試みは  
 新年に入り、市内のクラシッ

## たべものフェア

来る三月には「食べ物フェア（おいしい食べ物で町おこし）」が予定されています。千葉県と香取市のご協力で、伝建地区を中心にしたいおいしい食べ物屋さんマップが完成しています。のべ二十一軒の食堂の一品づ

つ自慢のメニュー写真が掲載された携帯し安い、折込式のパンフレットです。（のれん班）  
**着々とまちづくり**

九月、伝建地区のみなさんに参加していただき、防災訓練。十一月、骨董市にあわせ建物公開を行い、市民はじめ観光客の

みなさんに伝建地区指定家屋の内部を見ていただきました。二月二十六日には真壁町へのバス見学研修を企画しました。電線地中化も実現に向けて進行中。また九十四年前の三菱館内部のバーチャル・リアリティ映像（筑波大学開発）が二月一日より公開中。（まちづくり班）

ク・カー・コレクター香取孝さんと石岡市在住の小嶋幸夫さん（兼ドライバー）のご協力により一月から三月まで「ボンネット・バス」をのべ十二日間にわたり走らせるという計画が具体化しました。



▶ボンネットバス  
 忠敬橋に行く。

## 封筒の寄贈

昨年十一月十五日、佐原ロータリークラブ会長・菅井源太郎さんはじめ役員の方々が交流館を訪れて、当NPO法人に対し、A4版名入れ封筒千五百枚を寄贈していただきました。ありがとうございます。

「香取広域交流拠点整備計画」が着々と進められています。これは佐原の歴史や景観を生かそうとする国土交通省の一大事業です。

佐原の景観の素晴らしさや観光客の数も増え、日本全国からの注目度も、益々高くなっています。私たちの町の中にも少しずつ変化が目に見えて「追い風」が吹いて来ているこの時期にあたり、私たち「小野川と佐原の町並みを考える会」は、今年も地域振興のために努力を続けてまいります。



▶伴走車プリンス・グロリア（昭和42年製）と共に。

## 第三十回全国町並みゼミ

### 伊勢大会報告

「伝えよう心とかたちのまちなみ文化」をテーマに、昨年九月十四、五、六日の三日間、伊勢市で開かれました。かつて舟参宮客で賑わった勢田川を舟で行き「神社（かみや

## 町並み交流館への

### 来館者の増加が意味するもの

佐原町並み交流館々長・小林和男



正月6日、骨董市で新年の挨拶。

日々、市民の皆様には交流館事業にご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。本年一月よりのボンネット・バスの休日運行に代表されるように、いま、良き昭和の時代を取り戻そうという機運が、市民の間に高まってきています。

私たちは、佐原を訪れる多くの観光客の中には、同じ目標を持つ来館者の方も多くそれぞれの地元での町づくりの実績などを伺いながら、互いのコミュニケーションにとりあっています。

また成果の中から様々な形で応援を受けます。たとえば、町並みを描く水彩画・写真、俳句（しろ）かたふりの館」で行なわれた第六分科会「海、川の景観と舟運を活かすまちづくり」には高橋賢一理事長にパネラーとして参加していただきました。

今年の第三十回大会は愛媛県西予市宇和町で開催予定です。そして来年度はいよいよ香取大会ですので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

## 市民が手を取り合って

交流館長として二年目、交流館が市民の期待に応えられるように、各層の方々とのきめ細かい交流を盛んにしていきたいと思っております。

## 年間十万人を突破か

### 交流館への入館者

平成十九年四月から本年一月末までの交流館への入館者数は、八一、四〇九名  
 前年度一年間の総計が 八六、〇八四名

でしたから、今年度の入館者は前年をはるかに上回ることを予想されます。夏の祭礼の三日目が台風で中止になったことを考慮すると、さらに上乘せがあったものと予想できます。

交流館二階の施設の利用状況  
 一月までの利用団体は 五五七 団体  
 総人数は、九、六七六名

